

浄化槽工事基準及び 実績報告書添付写真の撮り方



東北町役場 下水道課

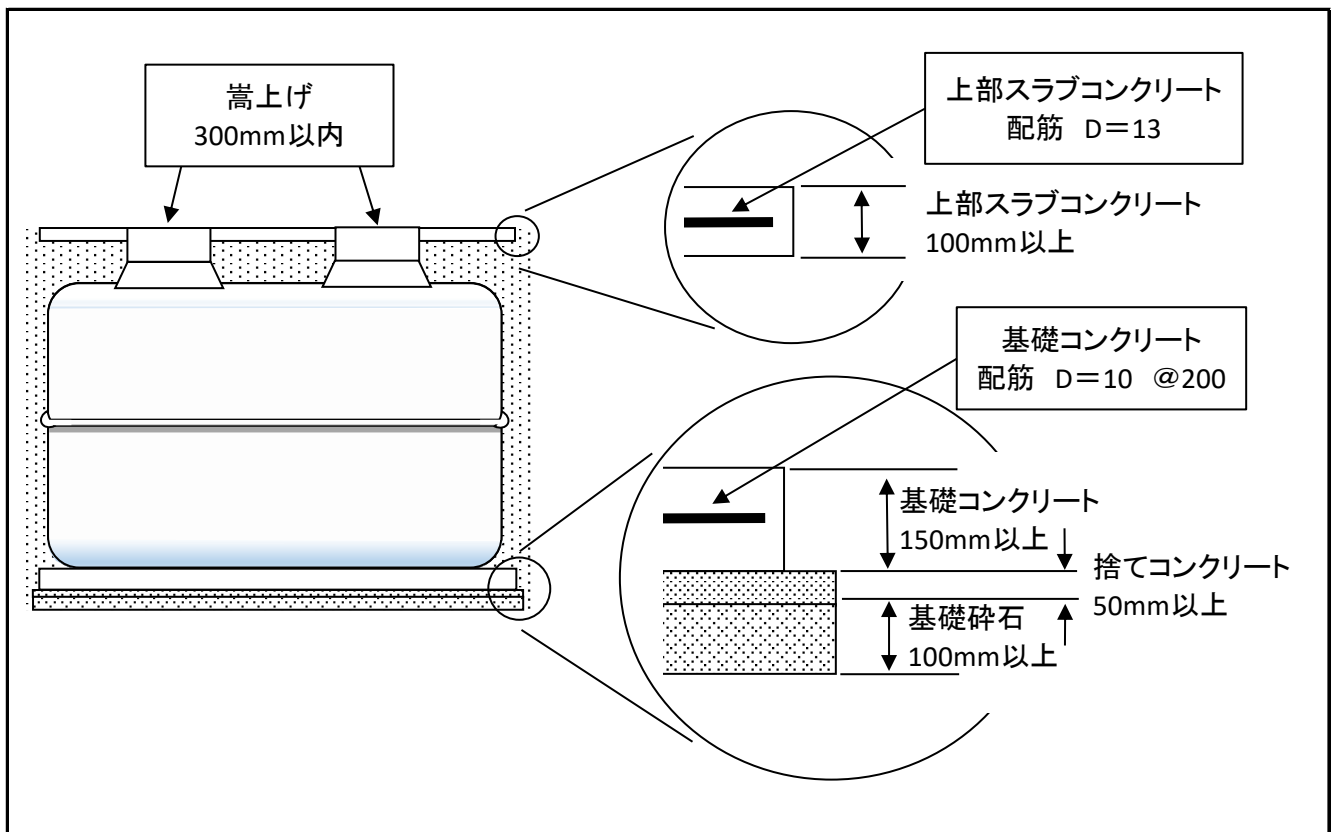
令和3年4月

浄化槽工事の基準と実績報告書添付写真の撮り方について

浄化槽設置整備事業の補助金を受けるためには、下記の工事基準を満たし、以下の方法で撮影した写真を添付する必要があります。

- ・ 浄化槽の基礎および上部スラブ、嵩上げの仕様については、次に示す参考図に準ずること。
- ・ コンクリート打設については、適切な養生期間を取る事。
- ・ 写真撮影には出来るだけ黒板を使用し、工種や測定値を黒板に記入すること。
- ・ 写真管理については、明確に撮影し、管理不足が無いようにする。
※写真に不備がある場合は、補助金が交付できない場合があります。
- ・ 工事中の安全を確保すること。

参 考 図



※ 基礎砕石、基礎コンクリート、捨てコンクリート、上部スラブコンクリートの厚さ以外の幅や長さについては、各浄化槽の施工要領書の値とする。

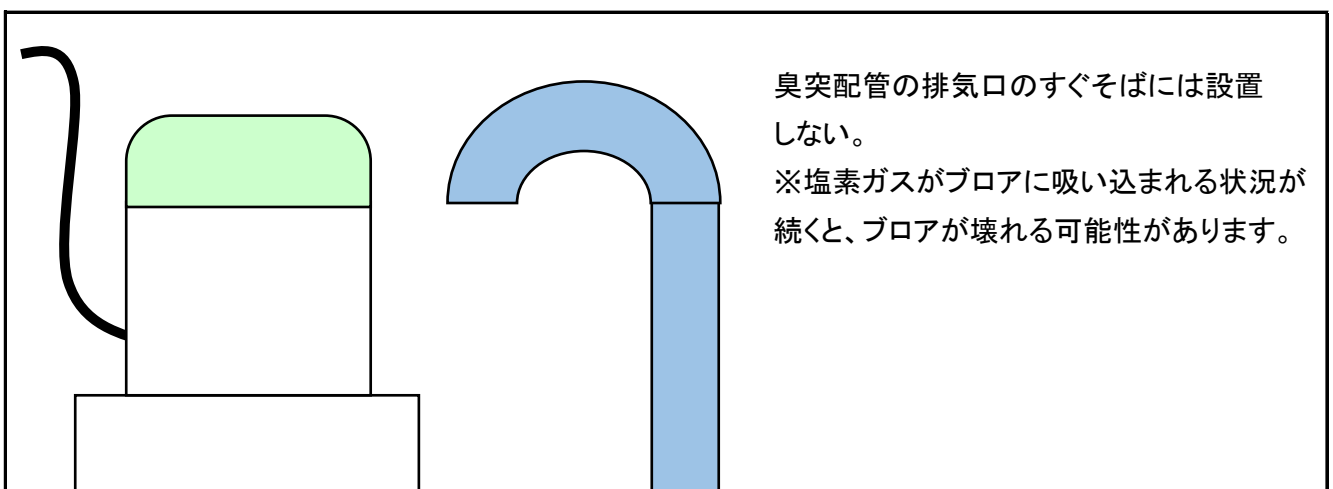
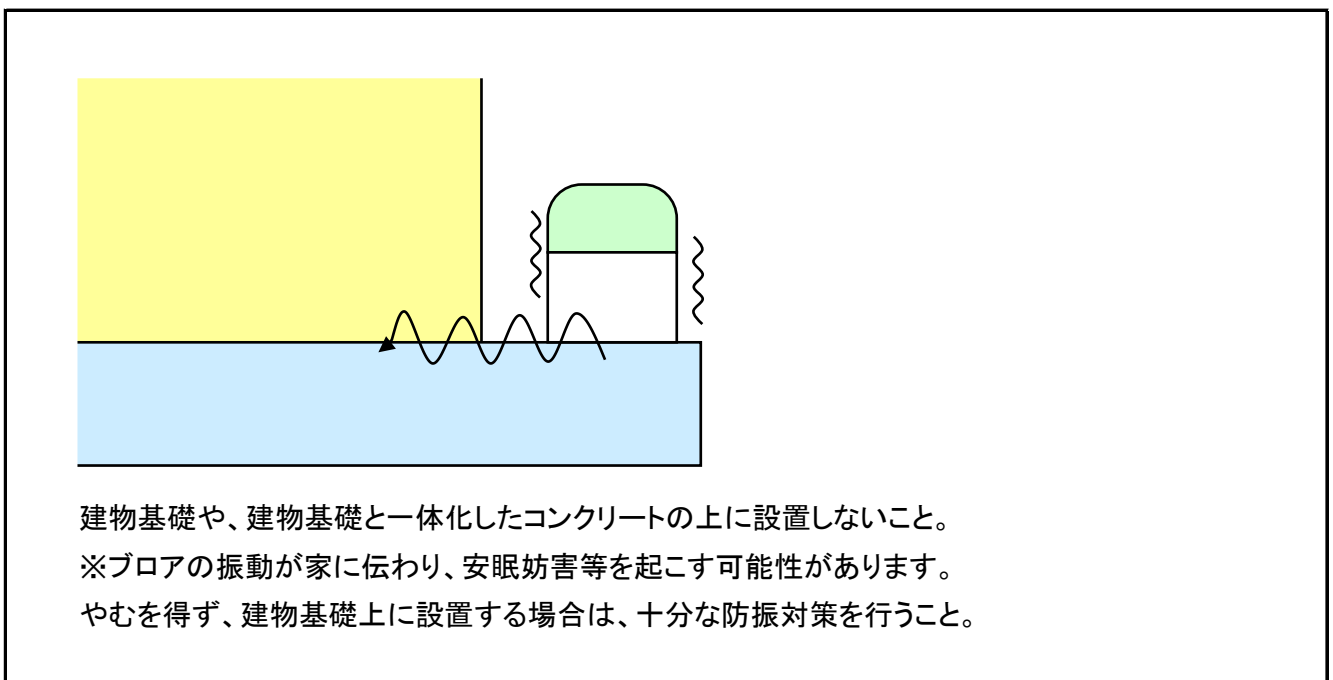
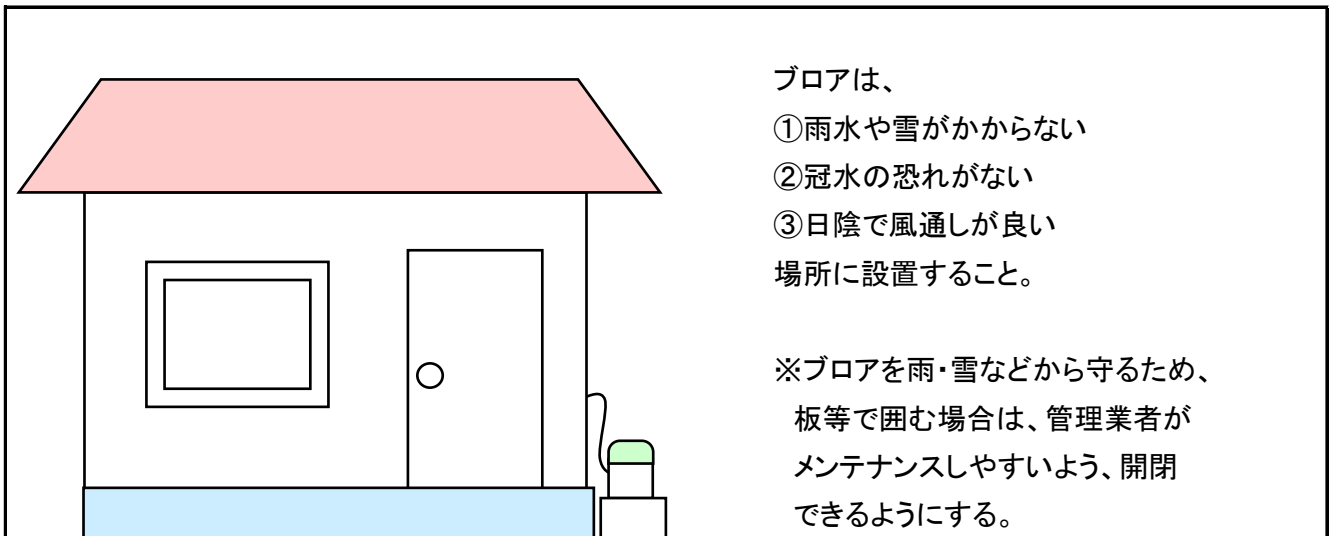
※ 基礎コンクリートの代わりにプレキャスト基礎板を使う場合は、 $FC=21N/mm^2$ (生コンの呼び強度) 以上のものを使うこと。

製品の試験成績表も申請時に提出する。

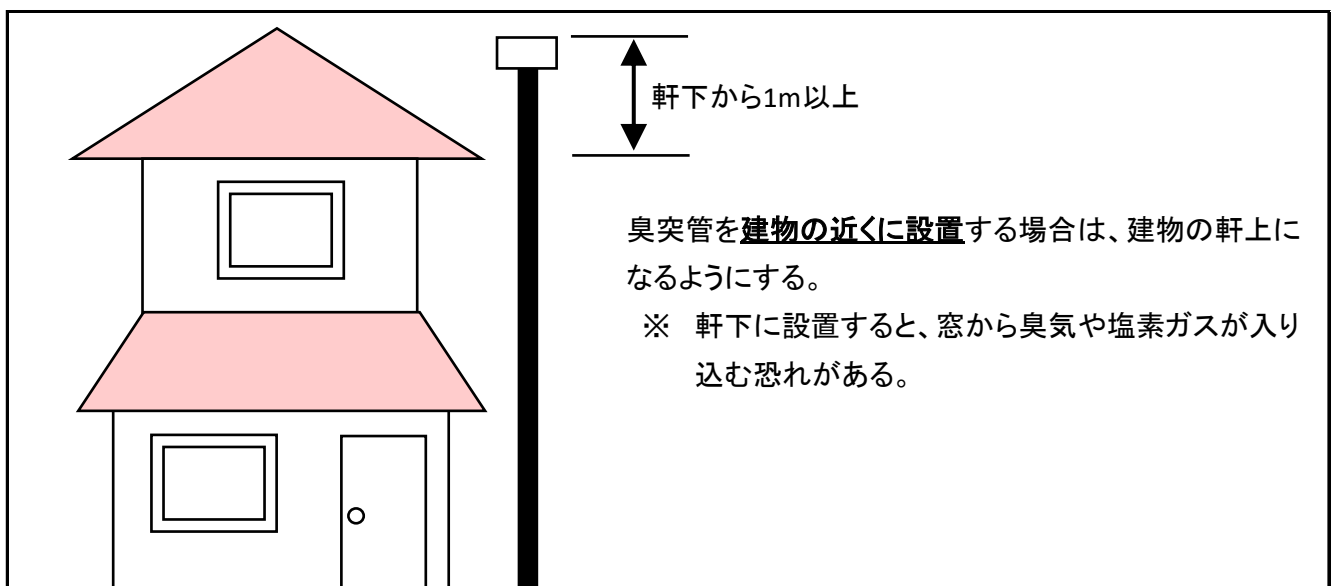
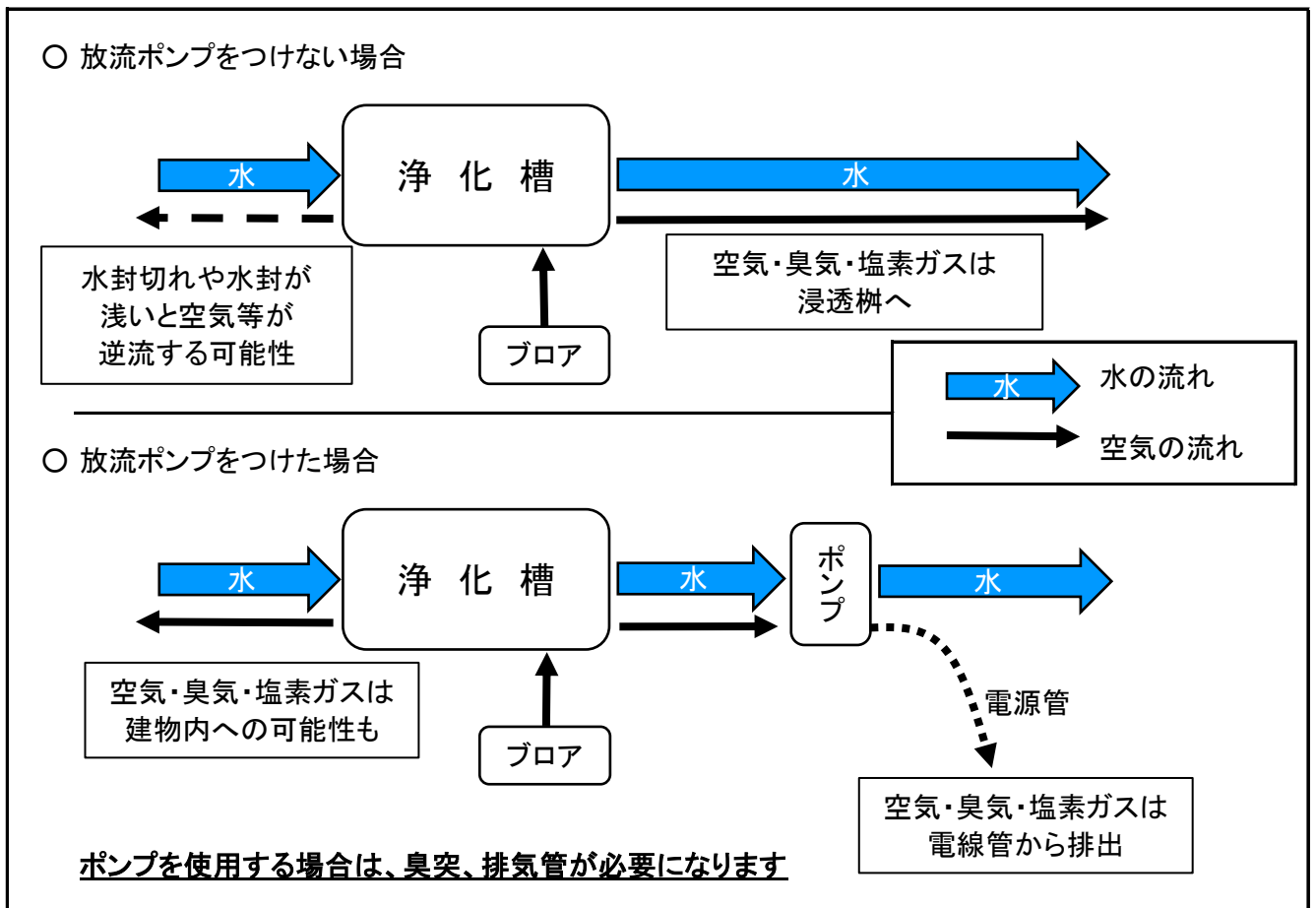
プレキャスト基礎板は、捨てコンクリートを打設した上に設置すること。

※ 上部スラブコンクリートに輪加重がかかる場合は、基礎コンクリートと上部スラブコンクリートの間に支柱等を設置し、浄化槽に輪加重がかからないよう施工すること。

ブロアの設置場所について



臭突、排気管について



その他注意事項

- ・ 配管のトラップの二重取り付けはしない。結果的に水封用の水がたまらず流れてしまい、臭気や塩素ガスが逆流し、配管等が傷むほか、悪臭の原因となります。

完成検査について

実績報告書が提出されますと、設置現場にて完成検査を行います。次の点に注意してください。

① 住宅が完成しているか

住宅が未完成のままでは、トイレや台所からの接続状況が確認できません。

また、ブロワが電源に接続されていないと浄化槽の動作確認ができませんので、

- ・ トイレ等の衛生設備が接続されている状態である。
- ・ ブロワが電源に接続されている(通電している)状態である。
- ・ 水道が開栓しており、水が流せる状態である。

以上3点が完成検査が行える最低条件になります。

② 現場周辺がきれいな状態か

現場で使った資材等が散乱したままでは検査が行えませんので、不要なものは撤去しておいて下さい。

③ 浄化槽の消毒槽に説明書等が入ったままでないか

消毒槽に入れたまま汚水を流している場合が多々見受けられますので気を付けてください。

また、検査時に浄化槽を使っているのに塩素剤が消毒槽に入っていなかったり、浄化槽用バクテリアを入れるのを忘れていたりすることの無いようにしてください。

※ 浄化槽完成後、すぐ入居しない場合は、浄化槽に消毒液を入れないでください。塩素ガスが発生逆流し、建物の配管等を傷める可能性があります。(入居後に入れるようにしてください)

④ 完成検査時、家に入ることかできるか

申請者が住宅にいるか、許可を取った上で住宅のカギを預かるかしてください。

配管設置を補助対象として申請している場合は、必ず接続の確認を行います。

完成検査時は水を流せるようにしてください。

⑤ 浸透柵の蓋が開けれるか

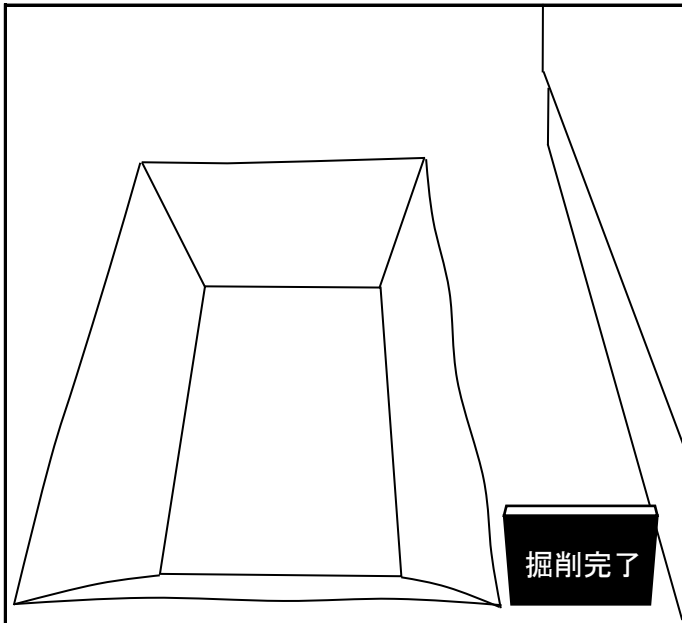
完成検査時に浸透柵の撮影します。浸透柵の蓋が人力で開けられない場合は、重機等を準備の上、蓋を開けられるようにしてください。

⑥ 浄化槽の水平を確認できるか

水平器を準備してください。

⑦ 冬季の場合、浄化槽や配管の上が除雪されているか

現場に行って除雪する羽目にならないように、検査前に除雪を行ってください。

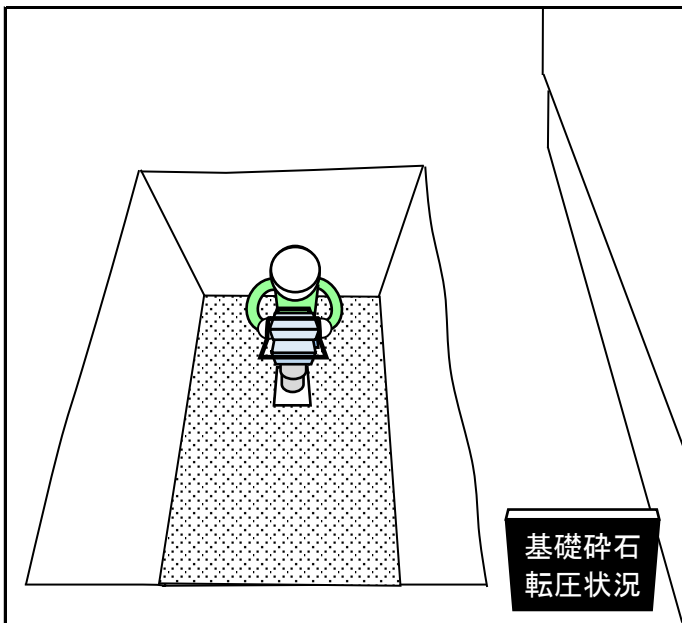


掘削完了

掘削終了後、撮影する。

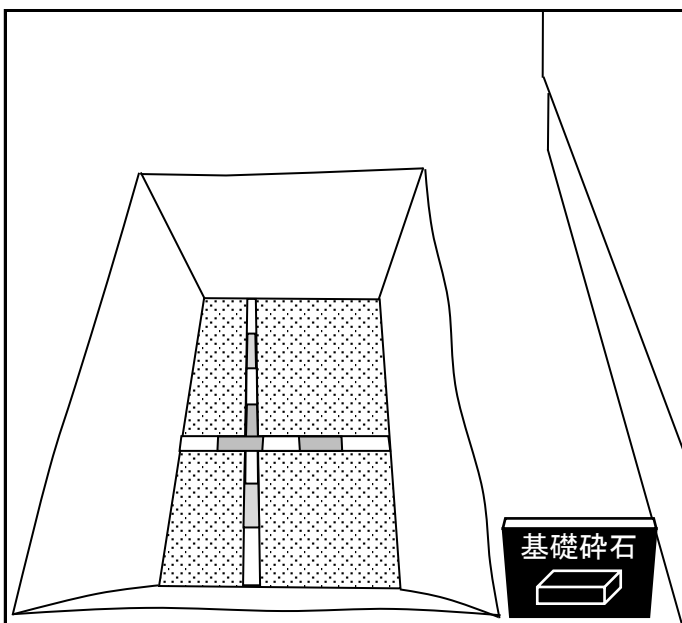
※地下水位が高い場合は釜場設置を行うこと。

※土壁が崩れるような場合は(崩れる可能性がある場合も)土留めを行うこと。



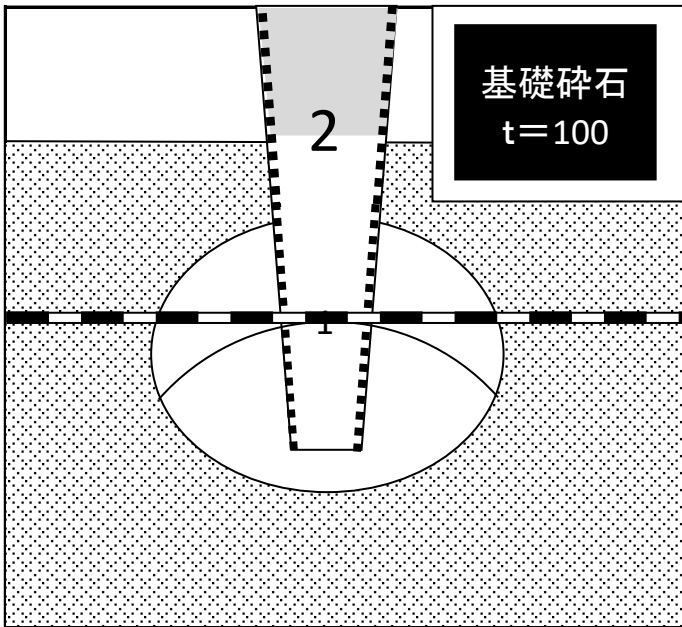
基礎砕石転圧

基礎砕石の転圧作業状況を撮影する。



基礎砕石

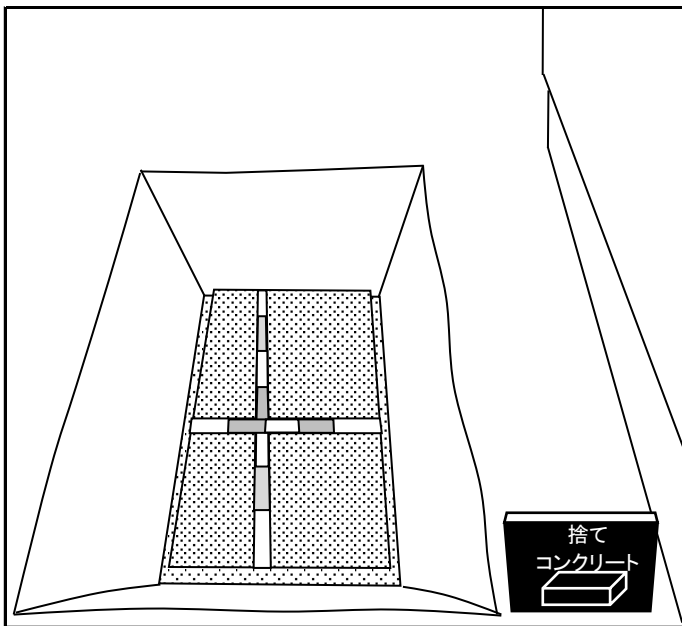
基礎砕石が完成したら、縦横幅がわかるよう、測量用リボンテープ等を置いて撮影する。



基礎砕石 厚さ

基礎砕石の厚さを撮影する。
標尺等の数字が読み取れるよう、撮影する。

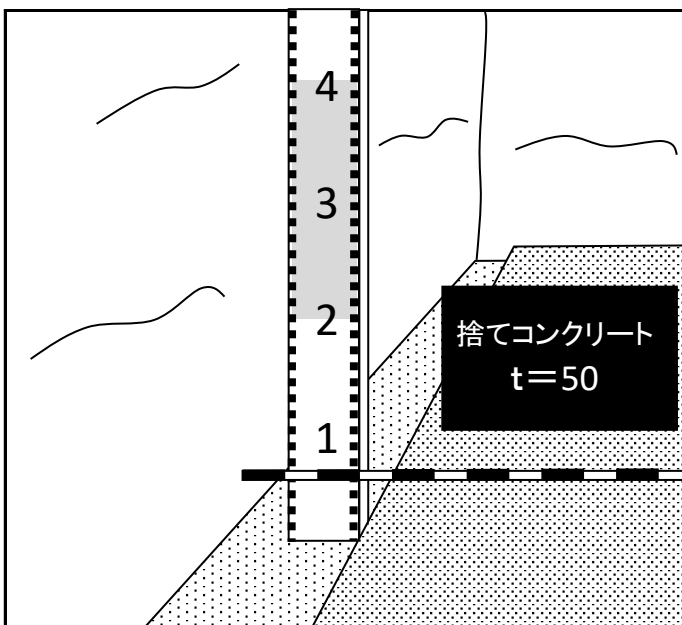
※基礎砕石の厚さは100mm以上とすること。



捨てコンクリート

捨てコンクリートを打設し、養生が終了したら、縦横幅がわかるよう、測量用リボンテープ等を置いて撮影する。

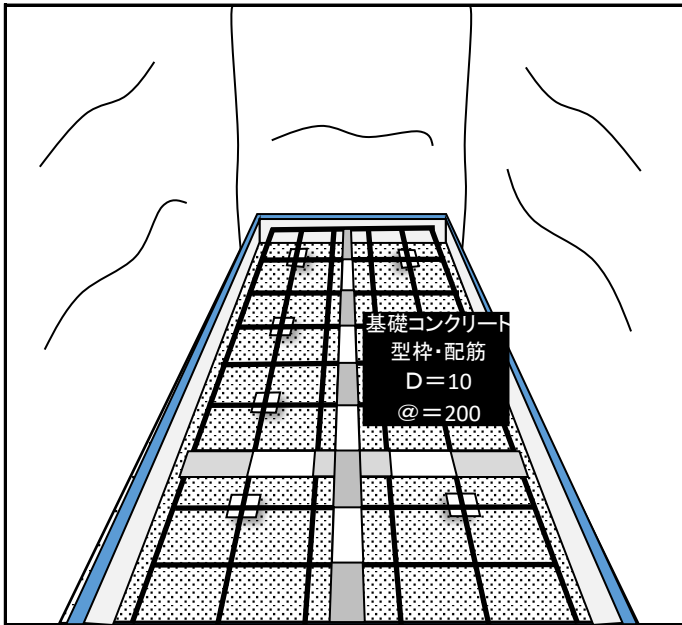
※捨てコンクリートと基礎コンクリートの同時打設は行わないこと。



捨てコンクリート 厚さ

捨てコンクリートの厚さを撮影する。
標尺等の数字が読み取れるよう、撮影する。

※捨てコンクリートの厚さは50mm以上とすること。



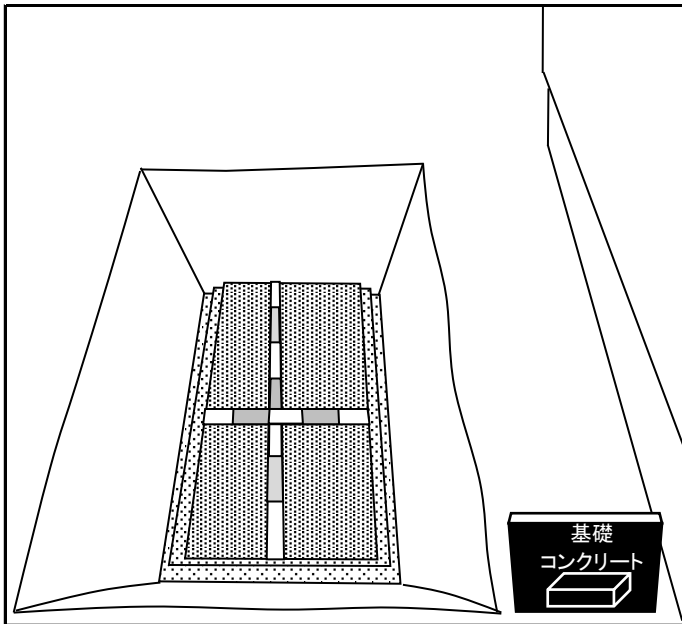
基礎コンクリート 型枠・配筋

基礎コンクリート打設の型枠、配筋が終了した時点で撮影する。

配筋幅が分かるよう、測量用リボンテープ等を置いて撮影する。

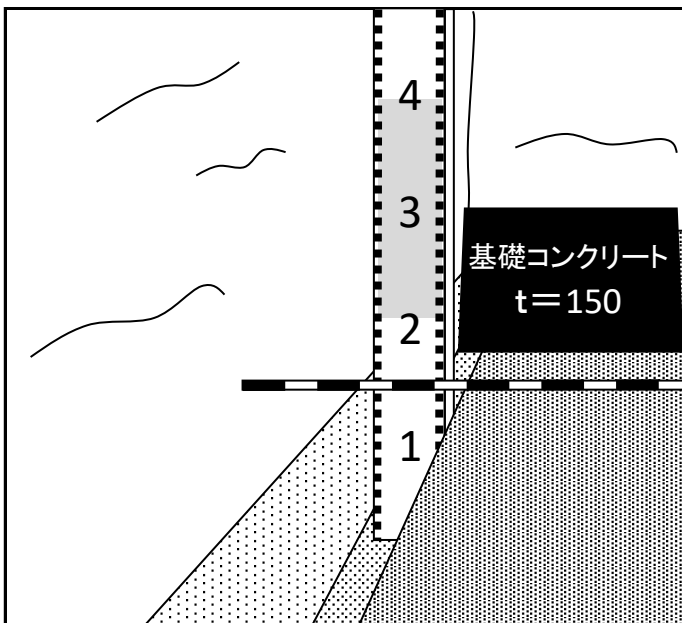
※スペーサーを入れること。

※配筋はD=10、@=200とする。



基礎コンクリート

基礎コンクリートを打設し、養生が終了したら、縦横幅がわかるよう測量用リボンテープ等を置いて撮影する。

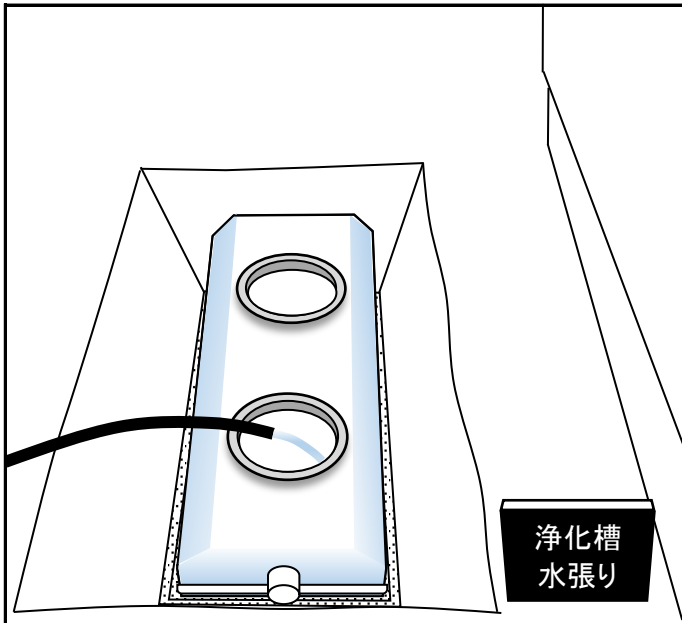


基礎コンクリート 厚さ

基礎コンクリートの厚さを撮影する。

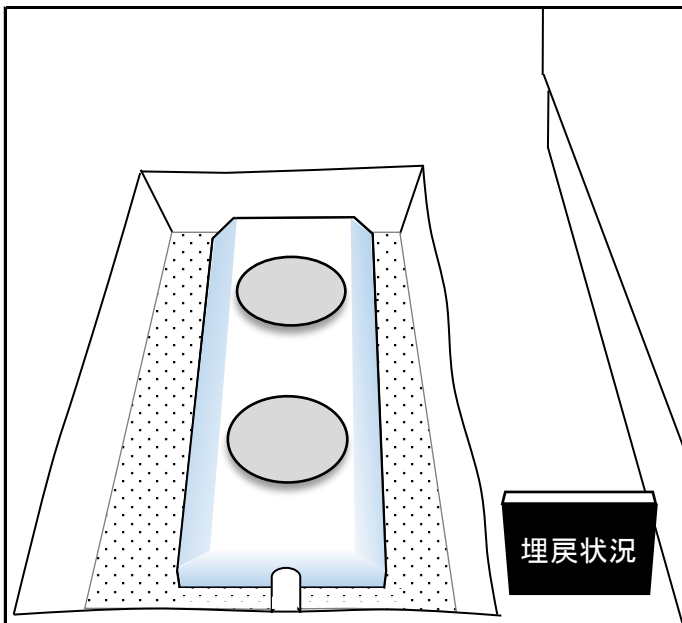
標尺等の数字が読み取れるよう、撮影する。

※基礎コンクリートの厚さは150mm以上とすること。



浄化槽水張り

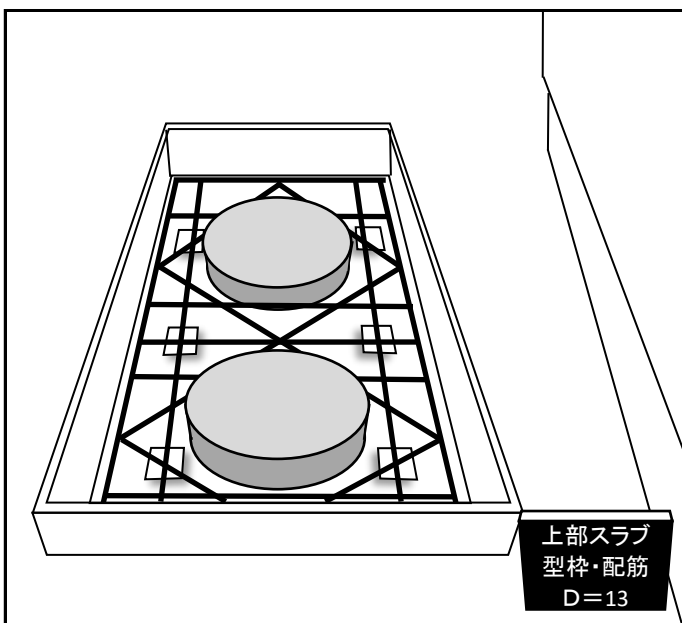
浄化槽水張り作業を撮影する。



埋戻

埋戻状況を撮影する。

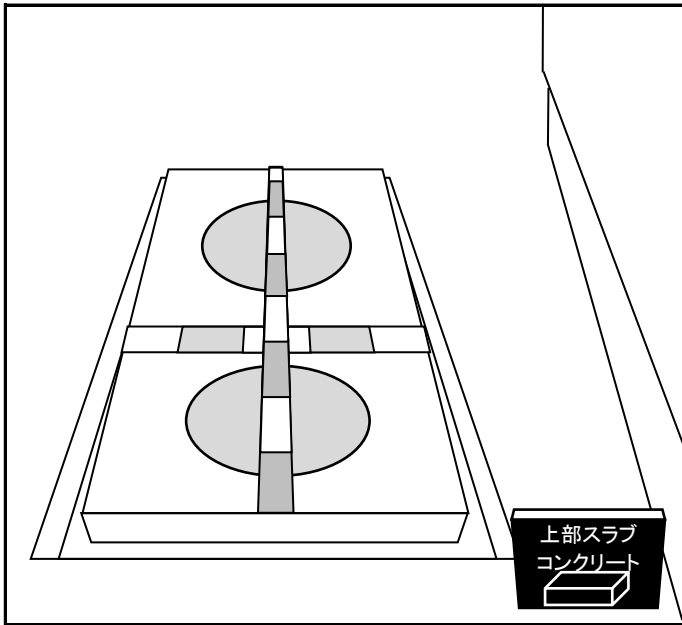
※左右均等に埋め戻すこと。



上部スラブコンクリート 型枠・配筋

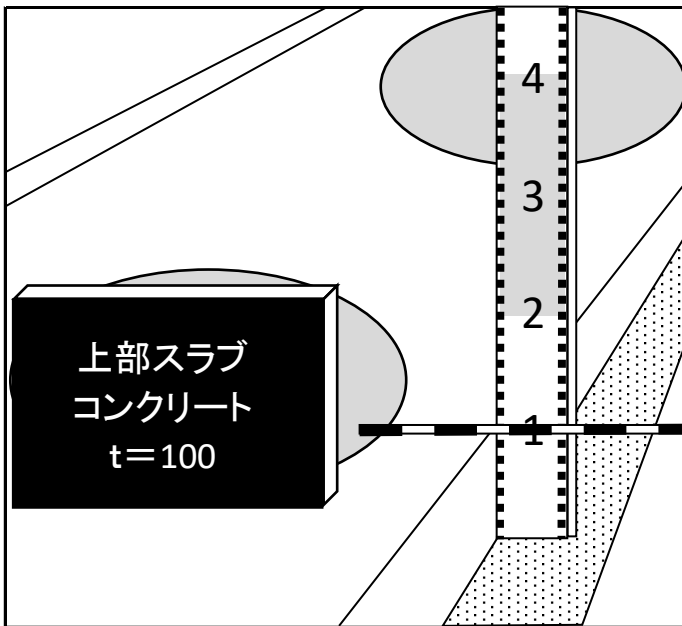
上部スラブコンクリート打設の型枠、配筋が終了した時点で撮影する。

※上部スラブには配筋を行うこと。
 ※スペーサーを入れること。
 ※配筋はD=13とする。



上部スラブコンクリート

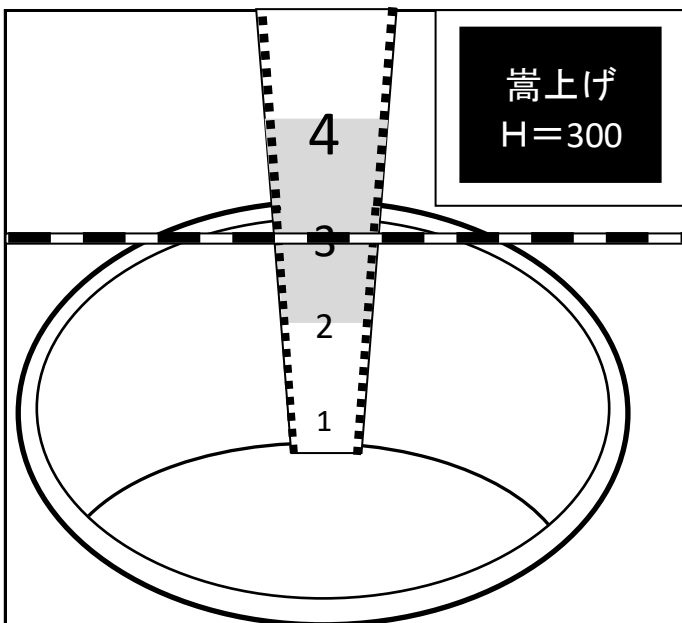
上部スラブ基礎コンクリートを打設し、養生が終了したら、縦横幅がわかるよう、測用リボンテープ等を置いて撮影する。



上部スラブコンクリート 厚さ

上部スラブコンクリートの厚さを撮影する。標尺等の数字が読み取れるよう、撮影する。

※上部スラブコンクリートの厚さは100mm以上とすること。

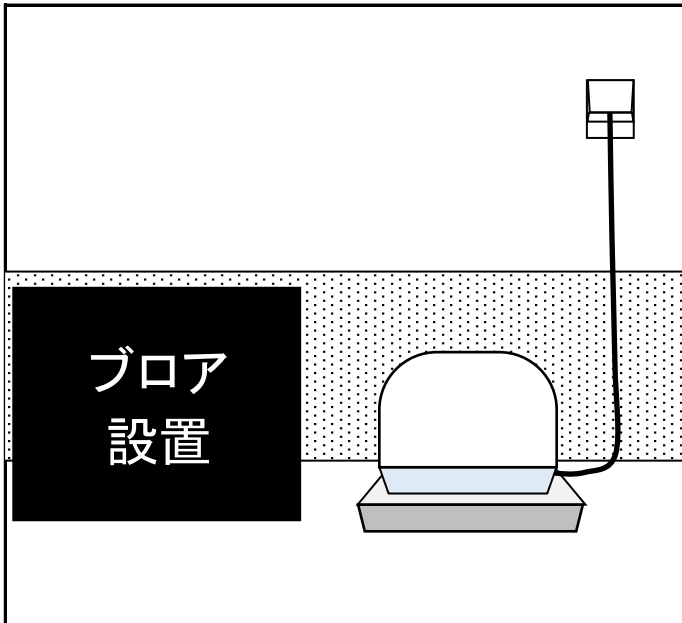


嵩上げ

嵩上げを撮影する。標尺等の数字が読み取れるよう、撮影する。

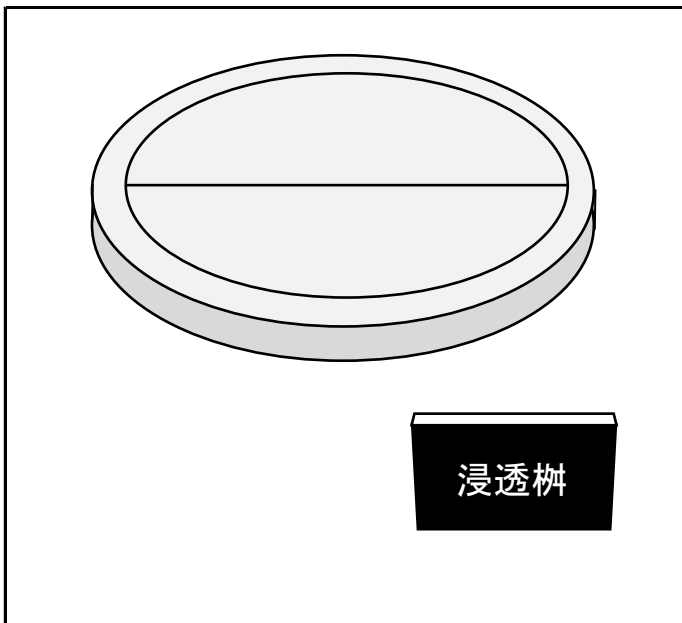
※嵩上げは、おおむね300mm以内とする。

※嵩上げ0mmでも撮影すること。



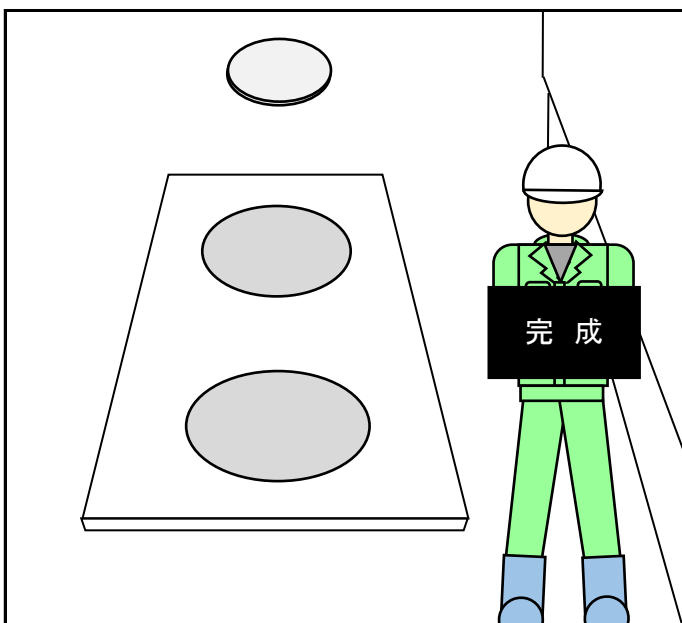
ブローア設置

ブローア設置し、電源が入った状態で撮影する。



浸透柵

浸透柵を撮影する。

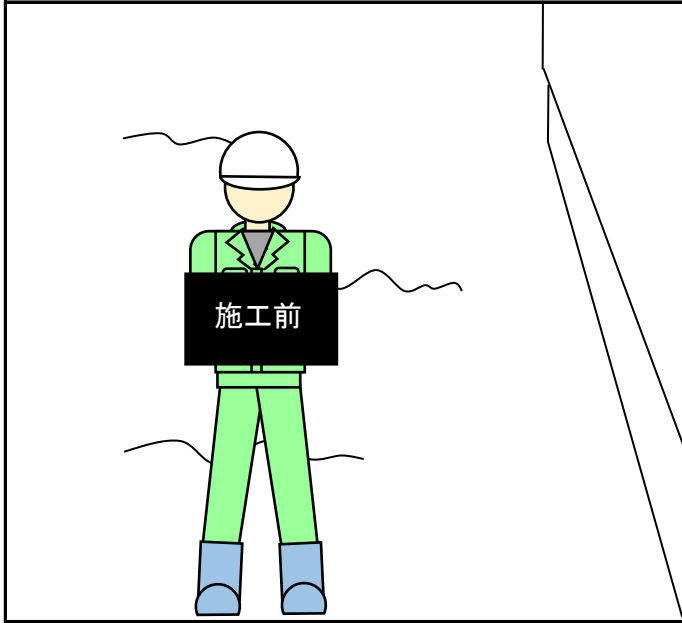


完 成

完成写真を撮影する。

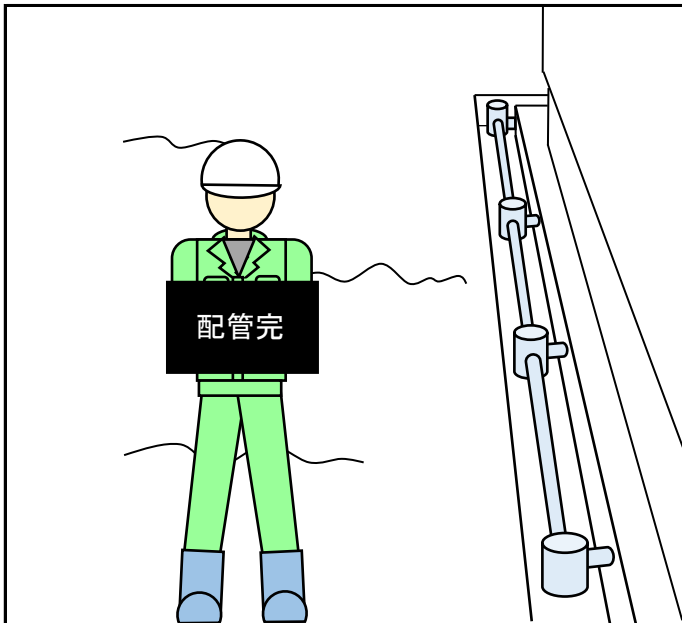
※資材、道具等を片付けてから撮影を行うこと。

配管工事写真の撮り方〔配管費用を申請した場合に撮影する〕



着工前

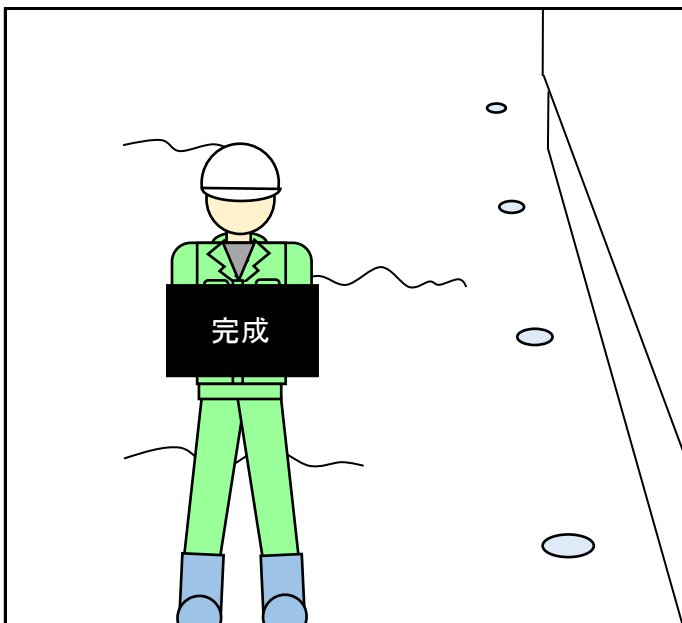
配管工事予定箇所を撮影する。



配管完了

配管敷設後、埋戻前を撮影する。

※一枚で取れない場合は、何枚かに分けて撮影してください。



完成

埋戻後を撮影する。

※一枚で取れない場合は、何枚かに分けて撮影してください。